

## 本校OG による進学講演会

10月19日（木）に、本校卒業生で和歌山大学観光学部4回生の梓谷愛音さんから、1年C・D組生徒を対象として進学講演会がありました。

梓谷さんは4年前に国際教養科を卒業し、和歌山大学に進学しました。大学では勉学の傍ら、和歌山大学・学生自主創造センター「クリエ」で、「高野七口活性化プロジェクト」という活動をしました。これは、若者の高野山に対する関心を集め高野七口周辺の地域活性に取り組んでいるもので、本校のCGSの活動と通じるところがあるものです。

また国連世界観光機関（UNWTO）という、持続可能で責任ある観光を促進することを使命とする国連の専門機関があるのですが、和歌山大学がこれに深く関わっていて、なんと梓谷さんはこの10月8日にスペイン・マルベリャのレ・ロッシュ（Les Roches）大学にて開催された「第2回 UNWTO観光分野における能力開発に関する国際会議」で行われた「UNWTO能力開発に関する学生アイデア・コンペティション」のプレゼンに参加し、世界各地からの50以上の応募の中から見事優勝しました。講演会では、こういった話とその舞台裏を、楽しく語ってもらいました。

「よく学び、よく遊ぶ」という言葉がありますが、まさにそのとおり、充実した4年間だったようです。大学生活になんとかあこがれを持つことができた、そんな会でした。

以下に、1年生生徒の感想をのせてます。

●私は和歌山大学観光学部に在籍されている梓谷愛音さんのお話を聞いて思ったことがあります。それは「観光」や「旅行」は自分を変えてくれるということです。私はあまり別の県などに行くのは好きではありません。住み慣れた串本町と比べるとどうも居心地悪く感じてしまうのです。しかし梓谷さんはそれを「居心地悪い」と感じるのではなく、「自分の知らない新しいもの」として見て、それから色々な知識やコミュニケーションなどを吸収しています。私もそれを見習って、自分の知らない地に赴き、自分の知らないものを吸収したいです。そして吸収できたものを利用できたらいいなと思います。



## 東京大学出前授業

10月27日（金）に東京大学海洋アライアンスの山本光夫准教授による、1年生対象の出前授業がありました。

山本先生は環境化学工学が専門で、鉄を利用した藻場修復・造成技術の開発、沿岸域における鉄をはじめとした物質動態評価など、環境技術と沿岸生態系保全に関する研究を行ってきました。

授業の中で先生はまず、全国で発生している磯焼け（海の砂漠化）について話をされました。これは、海に含まれる栄養分の不足が原因だそうです。昔は、山から腐葉土を含んだ水が海に流れ込み栄養分となっていたのですが、森林の荒廃により栄養分が減少し、全国的に磯焼けが発生しているそうです。

特に海草には、光合成を行うために鉄分が必要なので、これを補うために、製鉄の過程で発生したスラグ（鉱石から金属を製錬する際に発生する副産物）や、製紙の過程で発生するパルプ廃材を海底に設置する実験を行っています。授業では、北海道や三重県の志摩、宮城県石巻の例を話してくれました。

この中でも北海道の例が一番成功しているようで、その他にも全国各地で行われているようです。また、スラグやパルプ廃材を有効活用することで、環境問題の解消にも役立っています。

「ものごとをやる時には、机上だけでなく現場も大事である。」や、「様々な考えを持つ色々な人とやるのが大事である。」という話もあり、最後は、「何か一つ、自信を持てる専門分野を持ってほしい。」という言葉で締めくくられました。

先生は東京にお住まいで、この日はわざわざこの出前授業のためだけに、しかも日帰りですら来られました。山本先生、本当にありがとうございました。



## 中学校生徒、保護者、教員対象学校説明会

下記の日程で、串本町・古座川町の中学校の生徒保護者および教員員対象の学校説明会を行います。参加される方は学校（教頭）までお申し込みの上、ご参加下さい。

- 第1回説明会 11月16日(木) 13:15～ 串本古座高校 串本校舎  
→5限目に授業参観を行います
- 第2回説明会 11月16日(木) 19:00～ 串本町役場古座庁舎
- 第3回説明会 11月22日(水) 19:00～ 串本古座高校 串本校舎

## 串本警察署との意見交換会

10月30日(月)に本校で、串本警察署の担当者と、生徒会役員・中央委員との意見交換会がありました。串本署刑事課からは自転車の施錠、スマホなどでのトラブル、薬物乱用防止について、交通課からは無免許運転について、地域課からは深夜徘徊についての問いかけがあり、生徒がそれぞれの考えを述べました。

最初に警察の方から「話しづらいところもあるだろうけど」とありましたが、自転車の施錠などの身近なことについては、「校則を厳しくする」や「鍵をかけていない自転車は移動させる」など、それぞれの考えを述べていました。

会の後で、「もっと気をつけなければならないと思った」や「(田舎で)考えが甘いと思った」という意見がありました。「人が多くて、あまり意見を言えなかった」という声もありましたが、今後もこのような場を持ち、活発な意見交換をしてほしいと思います。



## 避難訓練

11月1日(水)に、津波防災の日に合わせて、避難訓練を実施しました。11月5日は津波防災の日で、本来はこの日に訓練を実施するのですが、今年は5日が日曜なので、全国一斉に1日に避難訓練を実施することになり、本校でも1日午前10時から実施しました。

津波防災の日は、浜口梧陵の故事に由来します。彼は安政元(1854)年11月5日に発生した安政南海地震で、津波が広村に襲来した後に自分の田にあった藁の山に火をつけて注意を喚起し、安全な高台に村人を誘導して村人の9割以上を救いました(死者30人)。現在はこの地に稲村の火の館(浜口梧陵記念館と津波防災教育センター)がたち、防災への警鐘を鳴らしています。

今回は緊急地震速報の訓練報を受けて、旧雇用促進住宅まで避難しました。今回から職員の点呼を取るようにしたためかもしれませんが、全員の所在確認までに9分45秒もかかってしまいました。次回はいっとスムーズに行う必要があります。

本番では、訓練以上のことはできません。

## 文化祭準備

11月1日(水)は、避難訓練の後に文化祭の準備を行いました。展示物の準備やバザーの食材の買い出しなど、こられる方のことを思いながら、それぞれの準備を行いました。

このマンスリーが届く頃には、すでに文化祭は終わっていますが、天気予報も晴れなので、きっと盛況のうちに終わっているかと思えます。

文化祭詳細は次号のマンスリーでお伝えします。またあわせて、ホームページにも掲載しています。



## 11月行事予定

- 13日(月) 職業人の話を聞く会(串本中学校と合同開催)
- 15日(水) 1・2年保護者対象進路説明会
- 16日(木) 情報モラル講座(6限)  
中学校保護者対象学校説明会(13:15～串本校舎 18:30～役場古座庁舎)
- 22日(水) 期末考査発表